

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 令和元年度第2回水戸市協働推進委員会
- 2 開催日時 令和2年3月2日(月) 午後1時30分から午後3時45分まで
- 3 開催場所 水戸市役所市民協働会議室こみっとルーム
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員 大野 覚, 片山 昭男, 大竹 隆志, 鹿倉 よし江, 石川 浩之,
早川 裕之, 井上 綾子, 羽石 英司
- (2) 執行機関 【市民生活課】課長 小川 邦明
副参事兼課長補佐 海老澤 守
市民活動・消費生活係長 吉田 友洋,
協働係長 橋崎 真哉, 主幹 長島 望
【泉町周辺地区開発事務所】所長 加藤 久人, 主幹 吉元 一真
【高齢福祉課】地域支援センター所長 土屋 勝
【障害福祉課】子ども発達支援センター所長 舘 美代子
【総合教育研究所】副参事兼支援相談係長 玉井 康浩
【文化交流課】文化交流係長 大森 明彦, 主事 富山 真祐子
【介護保険課】課長 荻沼 学
【農政課】企画係長 長谷川 修,
ふるさと農業センター所長 長谷川 祐紀
- (3) その他 特定非営利活動法人セカンドリーグいばらき
茨城県介護支援専門員協会水戸地区会
国田歴史学習会
じゃあまいいかねっと-市民活動ネットワーク-
おとのわプロジェクト実行委員会
特定非営利活動法人ちいきの学校
森っこ
株式会社ナムチェバザール
- 5 議題及び公開・非公開の別 水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」に係る
令和2年度提案事業の公開プレゼンテーション(公開)

- 全体審議（非公開）
- 6 非公開の理由（全体審議）
- ① 公にすることにより，当該団体の権利，競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため。
 - ② 公にすることにより，率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ又は不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるため。

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 1人

8 会議資料の名称 令和2年度提案事業の概要

9 発言の内容

【公開プレゼンテーション】

委員長	ただ今から，令和2年度水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」の公開プレゼンテーションを始める。提案のあった8事業について，提案団体と市担当課から，事業の概要，協働による効果，役割などについて発表していただく。
提案団体 泉町周辺地区開発事務所	【発表：市民参画による道路等パブリック空間の有効活用検討事業】
委員	自分自身，プレイパークをやっていた経験があるが，東京のまちと水戸のまちは違うので，事業がうまくいくかどうか。また，ヒアリングの目標人数はどのくらいか。ヒアリングをしてからのまち遊びなのか。警備に対する5万円の謝金は高すぎないか。相場は1.5万，高くても2万とかがえる。
提案団体	まず，みちあそびを先にして，イベントの来場者へヒアリングを行いたいと考えている。1回のイベント（ヒアリング）ごとに，100名ほどヒアリングを行いたいと考える。×2なので，200名ほどを対象としたい。 東京のまちと水戸のまちとは違うという御指摘については，おっしゃるとおりだと思う。プレゼンの事例は，丸の内で実施したみちあそびで，両親が働く街へ子連れで遊びに来て，そのみちで遊ぼうという企画。東京のようにたくさんは集まらないし，すぐに参加者間のコミュニティが形成さえるとも考えていないが，こういうことを経験することにより，そこに住んでいる人たちが，自分たちも何かできるという気持ちになるきっかけにしてほしい。なぜ，コミュニティワーカーにヒアリングを依頼するかというと，そういう方たちの中から参加してくれそうな人に声をかけて，口座の中でつないでいくということを地域の人たちをつなぐことを目的としている。 警備費の5万円については，道を通り止めにする際に，警備員2名の配

	<p>置が必要になるが、道を止めるためには、専門的な訓練を受けた方でないとだめだそう。そういった際に派遣される警備員に対する報酬の相場が5万円。</p>
委員	<p>新市民会館の完成を見通した提案だと思うが、令和5年4月の完成予定だと思うが、それまで単発ではなく継続的に実施していく方向で考えているのか。</p>
担当課	<p>委員のおっしゃるとおり、新市民会館の開館は令和5年4月を予定している。3年ほどまえから、開発事務所でも実験的に芸術館広場で春と秋に開催されているあおぞらクラフトいちにあわせて、春2日間、秋2日間、その期間、間の道路を通行止めを行い、市民アンケート等を実施したり、イベントにあわせて道路をとめたことによる付加価値、効果を検証している。今回の提案は、その延長上にあるものと考えている。市民会館の開館までには約3年あるが、今から市民の方に道路の有効活用の方法を知ってもらいたいので、今から取り組みたい。</p>
提案団体	<p>これはサンプルをお見せしているにすぎない。ここに集まっている方たちのなかから、なにが生まれるのかは、わたしにもわからないですけども、なにもないところで、じゃあみなさんどうですか、なにかやりたいことありますかと聞かれるよりも、こんなことに参加しながら、何か楽しそうなことないかなとか、やはり人はなにかの刺激があつて、次の発想につながたほうがさらに多様な発想につながるの、いろいろなご意見がでてくると思うので働きかけていきたいと思う。</p> <p>もうひとつ、水戸の資源は高校生であると考えている。中心市街地で実施している310食堂でも、高校生をはじめとした若い世代が多数関わっており、多世代が関わることができる。こういうことを企画することから、若い世代にも関わってほしい。自分の住む街には自分が責任を持つ、自分たちが何か言えば、自分たちの住む地域が良くなっていくんだという思いを持って成長して行ってほしいし、市民一人一人が地域社会は自分たちで責任を持っていきっていくんだという地域にコミットしていく人材を見つけたい。</p>
提案団体 高齢福祉課	<p>〔発表：在宅医療・介護・看取りを語る会〕</p>
委員	<p>事前に資料を確認させていただいて、目的のところなんですけど、過去の調査、事業の背景等がかかれています、事業の目的が薄いように感じる。継続事業として、2年目となるが、今回の提案の特色は。</p>
提案団体	<p>ひとつは、映画にもでていますが、在宅で様々な職種が関わって支援していくということで、前回とは違った形で看取りというものを考えることができる。もうひとつ大きなものとしては、前は、前期後期と2回大きく語る会を開催したが、今回は34地区で、小規模な形で継続的に関わっていきけるようなことをやっていきたいと考えている。</p>

委員	収支計画書について、これから詳細については詰めていくと思うが、金額がざっくりとしすぎているので、現実的な数字をお願いしたい。
委員	今回、34地区、+語る会を実施するということだが、実施にあたっての難しさを感じることはあるか。例えば、体制的な問題など。
提案団体	会員が208名おり、すべてが能動的な会員というわけではないが、各地区ごとに担当を割り振ろうと考えている。3～4名程度。それで、市民センター所長をはじめ、市民センターで活動をしている様々な団体と日頃からお付き合いをさせていただきながら、交流会を開催していきたいと考えている。補助がなくなったあとも、ケアマネジャーは地域をつくるということも一つ期待されている役割なので、そういうことをやっていくためのきっかけになればいいのかなと考えている。
委員	上映するにあたって、今年度は16か所、来年度は34か所、たとえばどこかの市民センターで上映する場合には、どういった形で日程等の調整を行っているのか。
提案団体	会場の確保については、協働事業ということで、高齢福祉課と協議しながら、土日中心に確保していければと考えている。あとはポスター等の広報物を作成し、広報活動を行っていく予定。上映は16か所で、語る会を34地区で行う。
委員	まさにいま、コロナウィルス感染症の影響があるが、実際に映画を上映するとなると、密閉空間での映画上映になるため、やりづらい部分があると思うが、なにか対応は考えているか。たとえば開始時期が多少ずれても問題ないと考えているか
提案団体	予定で6月、7月というのが、社会福祉協議会等に確認しながら、市民が参加しやすい時期ということで設定した。感染症の影響が継続しているようであれば、時期は別個検討する。
委員	〔発表：国田地区の名所・史跡探訪を通じた魅力再発見プロジェクト〕 今回で最終年度となるが、今まで計画されていたハード系のものについては、令和2年度をもって終了するのか。
提案団体	ハードの整備については、令和2年度で終了とする。
委員	3年目が終わった後、たとえば、収支計画書にも記載があるが、史跡巡りなど、ソフト面の事業は継続していかなければならないと思うが、そのあたりについてはどのように考えているか。また、実施体制はどのようになるか。
提案団体	看板の設置については、多額の費用がかかるため、困難だが、 また別のスポンサーを探したり、自己負担なり、自主財源を確保して事業を継続していきたいと考えている。あとは、市民センターの口座に歴史講座を組み込むなど、連携しながら、史跡巡り等を実施していくことも可能ではないかと考えている。
委員	ボンネットバスの借り上げについて、収支計画書では、2台で13万円が

	計上されているが、この金額で借り上げることは難しいのではないか。
提案団体	おおまかにいうと、2台で11万円で借り上げることができる。水戸市の観光課から聞いた。つくば市にある日本バス保存会から借りた場合。梅まつりの時期に使用する場合とは、使用日数等異なるが。
委員	距離的にもそれほど使用しないということか。
提案団体	まだ、令和2年度に本事業を実施できるか不明なので、11月の実施を考えているが、詳細については、まだ未定の状態である。
委員	今後の課題というか、若い世代、親子連れのために、国田史跡八景とか、子ども達に案内してあげたりとか、国田の歴史や伝統、文化を学ぶ機会という部分で、若い世代の人たちへのPRについては、どのように考えているか。
提案団体	常陸大宮市にある天神林町という地区が作成したマップを参考に、国田地区のマップを作成したいと考えている。作成後は、移動学習のような行事の際に配布することとあわせ、市民センターにも設置し、市民が気軽に手に取ることができるようにしたい。
委員	飛行場が国田地区にあったということを知らない子ども達も多いと思うので、そういった歴史を子ども達に伝えるためのイベントなども検討してほしい。
提案団体 高齢福祉課	〔発表：LD、HSCの子どもが育つ環境を整える事業〕
委員	とてもいい取組だと思う。実は、自分自身、現役で支援員をしており、子ども達と接する機会が多い。今回提案している養成講座などは支援員を対象とした研修会にも取り入れてほしいと思う。 また、水戸市はICTが遅れているので、難しいと思うが、実際に学校教育の現場で、計算ドリルをみんなと同じようにしなくてすむようにするとか、ICTを取り入れた授業の展開も進めていただきたい。そういった具体的な展開についても、教育委員会と協議しながら、進めていってほしい。
提案団体	LDは学習に関わることなので、学校教育の中での支援がすごく大事なことだと思っています。総合教育研究所と協働できるという機会に、一緒に取り組んでいきたいと思う。
委員	聞いたことはあるが、認知されずらく、苦勞されてきたことと思う。事業目的の中に、「すべての子ども達の個性が尊重され、家庭や学校、社会の中で、その子らしく生きられる環境を整えるために」とあるが、それに尽きると思う。会員が8名ということで、大変な部分あると思うが、少しでも多くの人たちに知ってもらいたいと思う。 お聞きしたいのは、講座を行うにあたって、会員の中に専門的な知識を持ったメンバーはいるのか。
提案団体	会員の中に、専門的な知識を持ったメンバーはいないが、子どもがLDであるという当事者であるメンバーがいる。また、その娘を通して、LDの子

	<p>たちがどういった経験をしているのか、知っているという状況である。また、LDに関して、ここ一年くらい調べてはいるので、多少、知識や経験といったものはあるのではないかと思う。</p>
委員	<p>感じている身近な課題を共有しながら、活動を行っていくということか。</p>
提案団体	<p>講座を依頼している講師は、専門の先生方が多いので、そういう方々から学んで、自分たちの今後の活動に反映させていきたい。</p>
委員	<p>水戸市以外の自治体の取り組みはどのようなものか。</p>
提案団体	<p>今回お願いしている講師達は、つくば市でLDに関わる活動をしている人もいれば、大学の教員等がいる。県内であれば、主につくば市で活動している方々と連携していけそうかなと。</p>
委員	<p>ぜひ他の自治体の成功事例も参考にしながら、事業を展開してほしい。</p>
委員	<p>一般にはわかりづらい、むしろ家族間でも認識されていない場合もあると思う。一般の方に知ってもらうにあたって、講演会だと、一般の人も参加できるという場ではあるが、その場に来場した人だけになりがち。当事者間の意見を集める機会については、どのように考えているか。</p>
提案団体	<p>現時点では、診断をされてる子は少なく、まだ診断されていない子は、学習に関する事なので、勉強ができにくい子という見られ方をしている段階の子が多いと思う。なので、この事業ではまず、大人がLDに関する知識を身につけ、LDの子ども達に気づいていくということからということなので、まだ当事者同士がつながるといふ展開にまでは至っていない。</p>
提案団体 農政課	<p>〔発表：茨城“おとのわ”プロジェクトin水戸〕</p>
委員	<p>着眼点が素晴らしいと思う。まち全体を元気にしたいという思いが伝わってくる。たとえば、東京都の吉祥寺や高円寺でアーケード街を利用して、演奏を行い、賑わいを創出しているといった事例もあるので、会場の選定もいいと思うし、偕楽園の中でもライブをやったりしているので、今後、偕楽園や四季の原、まちなかなど実現可能性はあると思う。今後の予定は。</p>
提案団体	<p>来年度は12回演奏会を行う予定だが、マチのイズミといったコミュニティスペースだったり、もみじ館という福祉施設で実施することは決まっているが、もし、協働事業として実施できれば、さらに選択肢が広がると思うので、駅のペデや千波湖、西ノ谷など活動の幅を広げていきたい。</p>
委員	<p>まずは知ってもらうことが大切だと思う。ハードルを下げて、無料でもよいと思うので、次につなげていけるようなストーリーをつくっていければよいと思う。</p>
委員	<p>とてもよい取組だと思うが、費用もかかることなので、なかなか難しいと思う。様々な事例を御存知かもしれないが、関西では、大阪大学では、</p>

<p>提案団体</p>	<p>1か月に一度ワンコインコンサートというものを実施しており、近隣住民などが気軽に訪れている。そういった事例も参考にしてほしい。また、行政と協働して事業を展開するという事は、ひとつのメリットだと思うので、そういった点もSNSを活用しながら広報活動を行ってほしい。</p> <p>人件費や諸謝金の対象は、構成員以外としている。例えば、昨年まで参加していて、4月から子どもが幼稚園に入る方がいる。その方は、保育士の免許を持っており、今後は森っこを応援していきたいという話をいただいている。また今後、市の協力を得ながら協力者を増やしていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>音楽好きな方にはたまらない企画だと思う。この企画をどう市民全体に知ってもらい、共有できるかというところが大きな課題だと思う。その意味で、ある程度会場は選定していたようだが、たとえば、水戸まちなかフェスティバルといった市のイベントの中に入り込んで、みんなに知ってもらうということも事業を広く展開していくうえで、有効ではないかと思う。他の事業との連携は考えているか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>さまざまな企画とおとのわと他の企画との連携、例えば福祉系のイベントなどと組み合わせながら活動を広げていければと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>七つ洞公園なども人気だと思うので、開催を検討してみてはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>収支計画が変更され、印刷製本費が増額されているが、どのような広報活動を予定しているのか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>1万円で約2000部のチラシを印刷することができる。そのうちの1,000部を開催会場に設置したり、学校等に配布する。1,000部は演奏会のプログラムに挟み込む。それを12回分。増額した7万円分は、おとのわプロジェクトそのものを知ってもらうためのリーフレット作成を想定している。リーフレットにはQRコードを掲載し、気軽に演奏を依頼してもらえそうな仕組みを構築したい。</p>
<p>提案団体 農政課</p>	<p>【発表：介護助手養成 ちいすけ水戸】</p>
<p>委員</p>	<p>「介護助手」という職種は、公的な資格として認められているものか。</p>
<p>提案団体</p>	<p>「介護助手」は位置づけとなるか。公的な資格ではないが、介護の周辺業務を行う者を「介護助手」とよぶ。認定されるわけではない。なので、介護の仕事をするうえで、急に介護の仕事に就くというハードルは高いので、「介護助手」この事業で、ワンクッションおきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりやすいプレゼンだった。マッチングは本当に難しく、なかなか想定通りには進まないと思う。講座を1日受けてだけで介護助手の知識を身につけて、マッチングというのは難しいと思う。場合によっては、つなぐハローワーク水戸が庁舎内にあるので、そういった組織との連携も考えているか。報酬も生じると思うので。</p>

提案団体	事業所に対する説明会のみで全てうまくいくとは考えていない。あらゆる機関との連携を模索しながら、事業を展開していきたいと思う。
委員	2つ確認したい。「介護助手」は、有償ボランティアではなく、有給職員という位置づけか。
提案団体	有給職員である。
委員	それぞれの事業所と雇用契約を結ぶ形になるか。 収支計画書を見ると、新聞広告費で30万円を計上しているが、プレスリリースなど、費用負担が生じない形で広報をすることもできるのではないかと思うが、どのように考えているか。
提案団体	なぜ新聞広告で広報活動を行うかという点、以前、介護職の入門的研修の受講者を募集した際、新聞広告で募集を行ったところ、計100名が集まるということがあった。 この経験を踏まえ、なるべくアクティブシニア層に届きやすいメディアで広報活動を行いたいと考えている。
委員	講座の内容について、体験が含まれていないようだが、体験ないまま、介護現場に入っていくって大丈夫か。
提案団体	講座のカリキュラムについて、体験はないが、ワークショップの開催を通じて疑似体験できる、マッチングをする事業所説明会で自分たちがつなぎやくとなり、ギャップがないようにしたい。
委員	アクティブシニアだけでなく、主婦層、特に幼稚園児の子どもがいる親などは2～3時間働きたいという人も多いと思うので、プレスリリースなども活用しながら広く発信していただきたい。
提案団体 農業技術センター	[発表：親子で楽しむ森遊び 森っこ]
委員	楽しく活動されている様子が伝わってきた。インクルーシブな世界観があって、母親達にとっても癒しの場になっているのではないかと思う。今後、本制度を活用した3年間が終了した後の見通しについては、どのように考えているか。
提案団体	本来であれば、3年後を見通しながら事業を展開していかなければならないと思うが、提案団体のメンバーは主婦であり、子育て、家事、仕事をしながら、また夫の転勤等も気にしながらの活動。1年ごとに自分たちができる形で事業を実現していければと考えている。だからといって、今行っていることに意味があるかという点、森っこの目指すところとしては、森っこの活動へ参加してくれた人たちが、自ら主宰して身近なところで、森っこ活動をして、自然が大好きな人たちの小さなコミュニティが増えていくこと。答えになっているかはわからないが、現時点では。

委員	ぜひそういったコミュニティが増えていくといいと思う。ここで育った子供たちが成長して、小さな子供の面倒が見られるようになったときに、同じように活動してみようという気持ちになると楽しいと思う。
委員	素晴らしい活動をされていると思う。市内の地域資源を、子ども達が自然体験をしながら、学んだり、他の家族と交流したりといい思い出になると思う。ぜひ活動を継続してほしいと思うが、さらに発展させてほしいと思う。自分たちだけで活動できるよう今後の財源の確保については、どのように考えているか。
提案団体	1年ごとの活動にはなっていますが、もし活動を継続していくことができれば、他の助成金にチャレンジしてみたり、どうしても参加費収入だけで、現在の事業内容を維持していくことは難しいので。
委員	自分自身、所属している団体で子ども達を対象にした事業を年に数回行っており、事業ごとに情操教育だったりと事業目的が異なるのだが、本事業も継続していただきたいと思うが、継続していく中で、事業が発展していくと思うが、この事業の目的は子育て支援なのか、青少年育成なのか、それとも、森林公園という地域資源の活用なのか。一番主となる目的はなにか教えてほしい。
提案団体	個人的な意見にはなってしまうが、一番は身近な自然を楽しむというところで、自分自身、自然が好きなところからこの事業を企画しているので、水戸市にある身近な自然を。その結果、子育て支援等にもつながっていくと考えている。
委員	今年度、事業を実施している中で感じた課題はあるか。
提案団体	幸運なことに、今年度は天候にも恵まれ、活動日ができたり、参加してくれた方が、来年はスタッフとして参加してくれるなどと声を上げてくれている。今すぐにでてこないが、課題は感じていないが、今後、意識しながら活動を進めていきたい。 [発表：キッズトレイルランニング大会]
委員	スライドにあった子ども達が走っている山道の幅の感覚でコースの道幅は確保されているのか。
提案団体	コースの幅は、すれ違うことができるくらいの幅はあるが、コース全てである幅が確保されてはいない。場所によって、特にのぼりでは、一部、狭い道幅もある。すべてが整っているという環境ではない。
委員	コースはこれまでに提案団体で整備してきたのか。
提案団体	大半はもともと整備されていたが、標識もなく、単純な場所の割には、道がたくさんあってわかりにくい。一度森の中に入ってしまうと、方向感覚を失うこともあり、恐怖心からあまり利用されてこなかった。さらに、コースの一部は成沢地区に抜ける林道で、自動車の通行もあったため、車と交わらなくて済むようにコースの変更をおこない、安全に走れるようにした。

委員	<p>自分も5年ほど前にトレイルランニングを企画したことがあったが、今話があったように現地は案内看板が少なかった印象がある。恐怖心がなく利用できるよう、案内看板があるとよいと思う。</p> <p>環境マインドの観点から、大会終了後に30分でも参加者でゴミ拾いができるような時間を設けられるとよいと思う。</p>
提案団体	<p>環境教育も本事業のテーマとして位置づけているので、委員ご提案のごみ拾いについては、取り入れていきたいと思う。こちらのトレイルに関しては、以前は不法投棄が多く、荒れていた。森を整備することと、人が入ることで、だんだん不法投棄が減ってきた。また、農政課で実施しているクリーンアップ作戦をやっており、専門業者や地域住民も参加しており、大きなごみも処分している。現在、目に見える範囲ではごみはない。そうすると、人も入っているし、ごみが捨てにくくなるというよい循環になり、以降、不法投棄はない。この事業を通じ、利用促進につなげ、不法投棄の解消にもつなげたい。</p>
委員	<p>身近にトレイルランニングができる環境があるということは、貴重な地域資源だと思う。水戸市民だけでなく、広く市外にもPRし、交流人口の増加につなげてほしい。</p>
委員	<p>とても楽しそうなイベントだと思う。ただ、今の子ども達は自然の中で遊ぶことになれていないので、大人が想像しないような行動をとって、思わぬ怪我をする可能性があると思う。まずはトライアル的に行ってもらいたいと思う。また、森をきれいにすることが、どう環境保全につながっていくのかが明確にわからないと今回の目的に達することが難しいと思うので、そのあたりを子ども達にわかりやすく伝えてほしい。</p>
提案団体	<p>まず、第一点目については、過去の取り組みとして、小学生を対象とした体験会を実施したことがある。体験会の開催にあたり、子ども達が安全に走ることができるかは確認している。また、子ども達は大人が思っているより、動物的感觉に優れており、これまでにけがをした子は一人もいない。</p>

上記に相違ないことを確認する。

委 員

委 員